



特集

森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等特措法)改正
～ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～



詳細については「日本美しの森 お薦め国有林」のウェブサイト
(http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/)をご覧ください。



にっぽん
「日本美しの森 お薦め国有林」のご紹介



あかさわ あげまつまち
赤沢自然休養林 (長野県木曾郡上松町)

【概要】

赤沢自然休養林は長野県南西部に位置し、日本三大美林の一つである樹齢 300 年以上の木曾ヒノキを中心とした木曾五木 (ヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキ) が林立しています。

昭和 45 年に国内初の自然休養林として開園し、昭和 57 年には「第 1 回全国森林浴大会」が開催されたことから、「森林浴発祥の地」としても知られています。また、森林セラピーソサエティにより森林浴効果があるとして「森林セラピー基地」に認定されており、上松町では「森林セラピードック」や「森のお医者さん」といった森林セラピーメニューを提供しています。

木曾五木と呼ばれる天然のヒノキ、サワラ等で構成された針葉樹を中心として様々な植物や動物が生息する生態系は、世界的にも大変貴重で希少と言われています。中部森林管理局では、この森林を守り育てていくために「木曾悠久の森」を設定して、木曾地方の天然林の保存と人工林を天然林へ復元する取組をしています。また、もっと多くの人に知っていただき、訪れてもらいたいという思いから写真コンテストを開催しました。

【見どころ】

自然を満喫できる 8 つの散策コースがあり、コース内にはパズルラリーが設置されているため、パズルを集めて楽しみながら散策ができます。また、車椅子でも散策可能なバリアフリーのコースもあり、夏には清流、秋には紅葉が楽しめます。

また、森林資料館と森林鉄道記念館には林業の歴史にまつわる資料や写真、木材輸送の先駆者となった大正時代に米国から輸入された機関車等が展示されています。さらに、森林鉄道には乗車もできるので、車窓から爽やかな森林を楽しみながら手軽に森林浴を満喫できます。

Google ストリートビューに 6 つの散策コースなどが公開されていますので、ご覧ください。

2021 年シーズンは、4月29日(祝日)から11月7日(日)まで開園予定です。

〈HP URL〉

上松町役場

<http://www.town.agematsu.nagano.jp/gyousei/index.html>



上松町観光協会

<https://kiso-hinoki.jp/>



Google ストリートビューで歩く木曾谷

https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/kiso/google_street_view/index.html

※施設の開園状況やイベント開催状況等については事前にHP 等でご確認下さい。



【アクセス】

- 車の場合 長野自動車道 塩尻IC → (一般道:約100分(約67km)) → 赤沢自然休養林
- 中央自動車道 伊那IC → (一般道:約80分(約52km)) → 赤沢自然休養林
- 中央自動車道 中津川IC → (一般道:約90分(約67km)) → 赤沢自然休養林



赤沢自然休養林散策の様子



第 2 回「木曾悠久の森」写真コンテスト最優秀賞作品



森林鉄道



4 2021 No.169

【お詫びと訂正】

2月号の記事において、記載内容に誤りがありました。
<訂正箇所> 2頁 【見どころ】 4段落目 1行目
(誤) 銀山温泉(山刀伐峠より南へ約1.8km)近くに
(正) 銀山温泉(山刀伐峠より南へ約18km)近くに

Contents

- 03 特集 森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等特措法)改正 ~ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて~
- 08 TOPICS 01 バーチャルで森林を散策してみませんか! ~ VR森林散策~
- 09 TOPICS 02 連続テレビ小説「おかえりモネ」 5月17日(月)スタート!
- 10 TOPICS 03 ITTOの活動と我が国の貢献
- 12 TOPICS 04 恋する花子まっぴ 第1弾「乗鞍岳」ができました
- 14 TOPICS 05 令和3年度 みどりの月間
- 15 TOPICS 06 令和2年度 全国がんばる林業高校生表彰の実施について
- 16 国有林野事業の取組 木曾ヒノキの里の取組~特殊な寸法の丸太を需要に応じて供給~
- 18 みどりの女神が行く!



森林の間伐等の 実施の促進に関する 特別措置法(間伐等特措法) 改正

～ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～

令和3年3月26日、「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法（間伐等特措法）の一部を改正する法律」が成立しました。今回の改正では、パリ協定下での森林吸収量の確保に向けた対策として、これまでの措置を延長するとともに、増殖を進めてきた成長の良い「特定母樹」から生産した苗木を植栽する事業である「特定植栽事業」の計画を認定する仕組みを新設しました。本稿では、間伐等特措法のこれまでの経緯を振り返りつつ、今回の改正の内容を紹介します。

間伐等特措法の 制定

(平成二〇年)

〜京都議定書第一約束期間〜



森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(以下、「間伐等特措法」という。)は、京都議定書の第一約束期間の開始年である平成二〇(二〇〇八)年、平成二(一九九〇)年度総排出量比二・八%の森林吸収目標を確保していくことを目的に制定されました。

法律の内容は、間伐や造林(以下、「間伐等」という。)の実施箇所等をリストアップした特定間伐等促進計画(以下、「特間計画」という。)を市町村が作成し、これに基づく間伐等について、国から市町村に交付金(美しい森林づくり基盤整備交付金)を直接交付するとともに、森林整備事業の都道府県等の負担分に起債特例・特別地方交付税を措置するというものです。

この美しい森林づくり基盤整備交付金は、地域の実情に応じて、通常の森林整備メニューにとらわれ

美しい森林づくり基盤整備交付金の活用事例

奈良県川上村

川上村では、吉野林業の特徴である「密植・多間伐・長伐期」施業を実施しており、100年生以上の人工林が村内人工林の1/3強を占めています。このため、交付金を活用し、高齢級間伐を支援しています。



間伐実施箇所(100年生林分)

愛媛県久万高原町

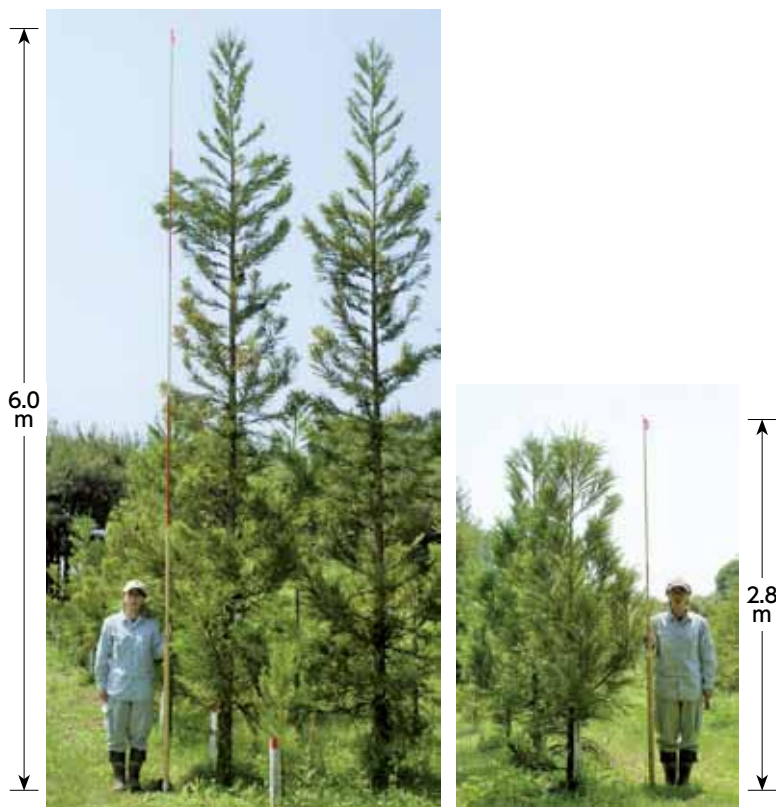
久万高原町では、県内で特に林業が盛んな地域で、多数の自伐林家が小規模な間伐等の森林施業を各地で行っています。

このため、交付金を活用し、自伐林家による小規模・零細な森林整備を支援しています。



自伐林家による間伐実施箇所

特定母樹と従来のスギの比較 (九州育種場内・植栽4年後)



特定母樹「スギ九育2-203」

従来のスギ品種(スギ精英樹)

ないきめ細かな支援を行うもので、高年齢間伐や路網の整備等に活用されています。

また、森林所有者等にとっては、予定している間伐等を特間計画に盛り込むことにより、森林整備事業の活用が可能となることも大きなメリットとなっています。

間伐等特措法の改正・延長(平成二五年)

京都議定書第二約束期間

間伐等特措法は、京都議定書の第二約束期間が始まる平成二五(二〇一三)年に同期間終了までの八年間延長されるとともに、この際、



特定母樹の指定状況(品種数)

育種基本区	スギ	ヒノキ	カラマツ	トドマツ	計
北海道			1	9	10
東北	73		14		87
関東	63	42	62		167
関西	32	40			72
九州	39	1			40
計	207	83	77	9	376

特定母樹を指定する際の基準には、成長量(同じ環境での従来品種に比べおおむね1.5倍以上)のほか、**花粉の量(一般的な花粉量の概ね半分以下)**や材の強さ等が含まれています。

特定母樹の増殖に関する新たな措置が盛り込まれました。

この措置は、林木育種センターが古くから進めてきた第二世代精英樹(エリートツリー)の選抜が進んできたことを背景に、特に成長に優れたこれらの品種の種苗を造林に用いることにより、将来の森林吸収量を確保することを目的に設けられ

たものです。

具体的には、従来品種に比べて一・五倍以上の成長、花粉の量が半分以上といった基準を満たすものを、農林水産大臣が「特定母樹」として指定した上で、その特定母樹を増殖して採種園・採穂園を整備しようとする民間事業者が「特定増殖事業計画」を作成し、都道府県知事の認定を受けると、林木育種センターから特定母樹の原種の苗木・穂木の配布やその育成に関する技術指導を受けることができるというものです。

パリ協定への対応



京都議定書第二約束期間終了後の地球温暖化対策については、途上国を含む全ての国が参加する法的な枠組であるパリ協定が、平成二八(二〇一六)年一月に発効しました。

日本は、パリ協定下での温室効果ガスの削減目標として、令和一二(二〇三〇)年度の排出量を二〇一三年度比で二六%削減すること、このうち一%相当を森林吸収

再造林の推進と 特定苗木の活用



特定母樹(九育2-147)の板材標本

量で確保することとしています。また、二〇五〇年に向けては、温室効果ガスの排出を八〇%削減することで、昨秋の臨時国会での菅総理の所信表明演説において二〇五〇年のカーボンニュートラルを目指すことが表明されたところであり、現在、政府内において地球温暖化対策計画の見直しなどの作業が進められています。

日本の森林は、人工林の高齢級化に伴い、単位面積あたりの森林吸収量が減少傾向で推移していることに加え、主伐後の再造林が三〜四割にとどまっている状況にあります。このため、中長期的に森林吸収量を確保していくためには、成長に優れた苗木による再造林を促進していくことが重要となっています。

再造林に必要な苗木については、平成二五年の間伐等特措法の改正・延長時に創設した特定母樹の増殖がこの八年間で進展し、北海道と九州においては増殖特定母樹から採取された種穂から育成された苗木(以下、「特定苗木」という)の出荷も始まりました。ただ、全ての苗木に占める特定苗木の割合は、令和元年度で苗木全体の約四〇%程度です。今後、特定母樹の増殖や特定苗木の生産を加速化させることとしていますが、それでも、令和一二年度の特定苗木の割合は最大三割程度と見込んでいます。このよ

うに、全ての再造林を特定苗木で行うには足りない状況ですので、森林吸収量の最大化を図っていくためには、数量が限られるこの特定苗木を、その性能を十分に発揮しうる場所に優先的に植えていくことが必要となります。

また、特定苗木は、従来の苗木と比べ成長に優れるため、樹高が下草より高くなるまでの期間が短く、下刈り回数削減が見込まれること、低密度での植栽や伐採するまでの期間の短縮も期待されることなど、植栽や保育の費用削減も可能となることから、林業面での大きなメリットも期待されています。

今回の改正概要



このようなパリ協定への対応や主伐後の再造林の推進等の観点から、今回、間伐等特措法の改正を行いました。改正の主な内容は以下の通りです。

② 再造林を促進する措置の創設
都道府県知事は、自然的・社会的条件が良い森林を特定植栽促進区域に指定し、この区域内で特定苗木の植栽を実施しようとする者が作成する特定植栽事業計画を認定する。

特定植栽事業計画の作成者が、無利子の資金である林業・木材産業改善資金を借りる際に償還期間を延長する。

特定植栽事業計画に基づく植栽等については、特画計画に位置づけられたものと見なすことにより、美しい森林づくり基盤整備交付金や起債特例等の対象とする。

改正法の施行



パリ協定下で森林吸収量を確保していくためには、間伐等特措法に基づく間伐等や特定母樹の増殖等を全国の森林整備の現場で速やか

① 現行の支援措置の延長

・ 特定間伐等促進計画、市町村




を開始する必要があります。このため、林野庁においては改正法の施行(本年四月一日)後の四月六日に国の基本指針を告示しました。これ以降、都道府県において基本方針を、市町村において特定間伐等促進計画をそれぞれ策定していただいた上で実際の森林整備が行われることとなります。

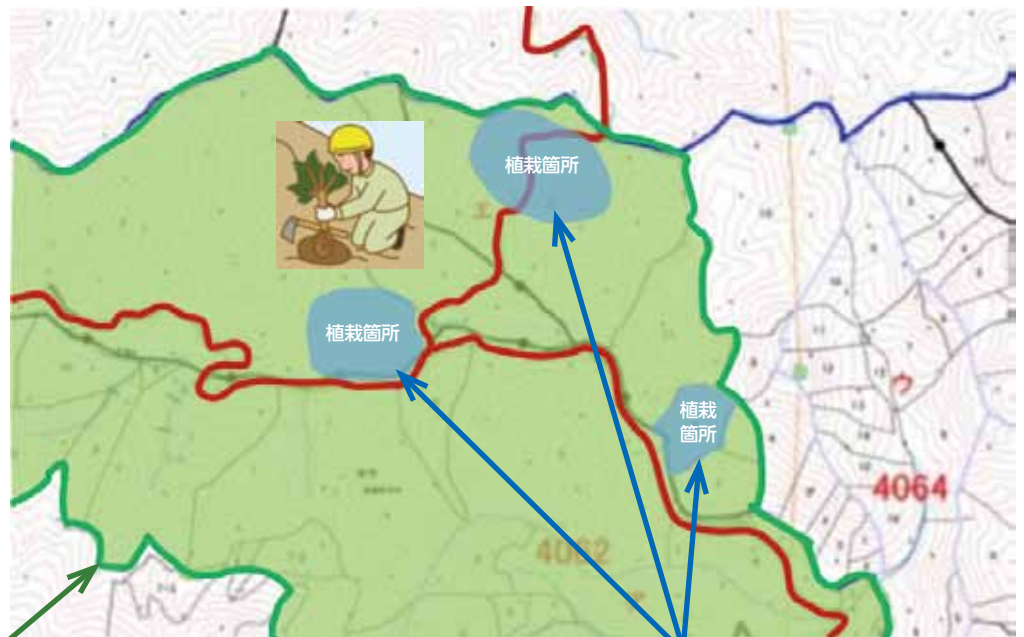
おわりに



吸収源対策をはじめ、森林の公益的機能の十全な発揮を図っていくためには、間伐を適時適切に行うとともに、主伐後の再造林などの森林整備を実施していく必要があります。林野庁においては、間伐や再造林等が着実に進むよう、間伐等特措法に基づく特定間伐等の支援措置などの取組を進めてまいります。

特定植栽促進区域と特定植栽事業計画のイメージ

-  植栽を促進する地域
-  林道等
-  事業計画に基づく植栽箇所



区域の指定

林業事業者等への支援

特定植栽促進区域

木木の成長に優れ、林道からの距離が近いなどの森林を、都道府県知事が一体的に指定。

特定植栽事業計画

- ・森林所有者・林業事業者が特定苗木の植栽に関する事業計画を作成し、都道府県知事が認定。
- ・林業機械の導入に対する金融特例等により、効率的な再造林の実施を支援。

特定苗木を活用した計画的かつ効率的な再造林を推進し、森林吸収量の更なる確保

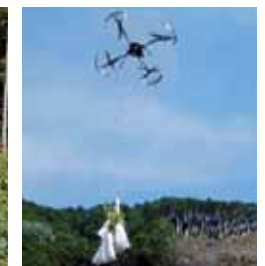
林業機械等を活用した効率的な造林の推進



コンテナ苗



地ごしらえ、下刈り用の多目的造林機械



苗木運搬用のドローン



バーチャルで森林を散策してみませんか！ ～VR森林散策～



新型コロナウイルスのパンデミックが私たちの生活様式に様々な変化をもたらしました。

近畿中国森林管理局では、「Withコロナ」時代に即した新たな森林とのふれあいスタイルとして、VR(バーチャル・リアリティ)技術を利用して森林散策が可能となる動画配信サービス(VR森林散策)の提供を開始しました。

このVR森林散策は、国有林内にある日本二百名山や日本一の樹高を誇るスギなどを撮影し、農林水産省の公式YouTubeチャンネル「maffchannel」に公開しています。パソコンで視聴する場合は、マウスでドラッグしながら画面を動かすことで360度の風景を自由に見ることができます。スマートフォンやタブレットで視聴する場合は、端末の動きに合わせて視点が変わるので360度自由な角度から見るすることができます。

また、スマートフォンにVRゴーグルを組み合わせると、あたかも森林の中にいるような錯覚を起こすほど臨場感あふれる風景を満喫することができます。

令和3年3月現在、当局管内の国有林を紹介する6本の動画を公開しています。この機会に是非「VR森林散策」を体験してみてください。お手持ちのスマートフォン等でQRコードを読み込むと、そこには普段目にするのできない貴重な森林が広がっています。



近畿中国森林管理局ホームページ ～VR森林散策～

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/vr/index.html>



シリーズ	タイトル	撮影地	
第1弾	<small>みのおこくゆうりん</small> 箕面国有林	大阪府箕面市	箕面国有林
第2弾	<small>はなせ</small> 花脊の三本杉	京都市左京区	<small>だいひざん</small> 大悲山国有林
第3弾	<small>ひょうのせん</small> 氷ノ山	兵庫県養父市・鳥取県若桜町	奥山国有林外
第4弾	<small>おおぎのせん</small> 扇ノ山	鳥取県八頭町	扇ノ山国有林
第5弾	<small>あかさい</small> 赤西溪谷	兵庫県宍粟市	赤西国有林
第6弾	<small>おおだいがはら おおすぎだに</small> 大台ヶ原・大杉谷	奈良県上北山村・三重県大台町	吉野熊野国立公園、大杉谷国有林

森林・林業分野では、危険な動物や昆虫、急傾斜地での移動や作業など、安全が担保されていない環境が多い中で、VR技術を用いることで、より様々な人々に森林・林業への理解を深めていただくきっかけを効率的・効果的に提供できると考えます。同局では、引き続き、様々な森林空間を題材にしたVR動画の配信に取り組むこととしています。



連続テレビ小説「おかえりモネ」 5月17日(月)スタート！



2021年度連続テレビ小説「おかえりモネ」(主演清原果耶、作:安達奈緒子)が、5月17日からNHKで放送されます。宮城県登米市で撮影された林業のシーンなどが放送されますので、是非ご覧ください。

～物語～

宮城県気仙沼湾沖の自然豊かな島で、家族と暮らしていた永浦百音^{ながうらももね}。

大学受験にことごとく失敗した百音は、祖父の知り合いで登米の山主である名物おばあさんの元に身を寄せ、新天地で将来を模索しながら林業や山林ガイドの見習いの仕事を始める。

東京から人気の気象予報士がやって来たことをきっかけに、気象予報士の資格を取ろうと猛勉強をはじめた百音は、地元の人たちに支えられながら、合格率5%の難関を突破する。

上京し、民間の気象予報会社で働きはじめた彼女は、個性的な先輩や同僚に鍛えられながら、失敗と成功を繰り返し、成長してゆく。

数年後、気象予報士として一人前となった百音は、大型台風が全国の町を直撃するのを目の当たりにし、何とか故郷の役に立てないかと思い、気仙沼へと向かう決意をする。





ITTOの活動と我が国の貢献

国際熱帯木材機関（ITTO：International

Tropical Timber Organization）は、国内に

本部を置く数少ない国際機関の一つで、熱帯

林の経営と熱帯木材の貿易を対象としていま

す。本稿では、ITTOの概要をご紹介します。

1. ITTOとは

ITTOは、1986年に「国際熱帯木材協定」に基づいて設立され、横浜市に本部を置いています。ITTOの目的は、熱帯林の持続可能な経営の促進と

持続的かつ合法的

に生産された熱帯

木材の貿易の発展

で、加盟国間の協

議や国際協力を推

進しています。

現在、生産国36

か国と消費国37か

国の計73か国（及びEU）が加盟しています。

2. ITTOの活動

① 政策活動

ITTOは、熱帯林の経営に関するガイドラインや基準・指標を策定しています。1992年に、世界初の持続可能な森林経営の基準・指標である「持続可能な熱帯林経営の評価に関する基準」を策定してから、森林火災対策、生物多様性保全、ジェンダー平等などに関するガイドラインを策定してきました。

昨年10月には、「熱帯地域における森林景観再生のためのガイドライン」を公表しました。

「森林景観再生」とは、森林のみならず、農地や

牧草地等を含む地域全体を対象として、住民の

参加により、樹木等を利用しながら、人と自然

が調和した生態系を築こうとする取組です。

また、ITTOは、熱帯林産物の生産・貿易に

関するデータの収集・分析を行っています。そ

の成果は、隔週発行の「熱帯木材市場レポート」

や隔年発行の「世界の木材に関する隔年評価報告」等により、情報提供しています。

② プロジェクト活動

ITTOは、消費国からの任意拠出により、生産国における持続可能な森林経営や木材貿易に関するプロジェクトの実施を支援しています。これまで、ITTOは、合計440億円以上の資金で1,000件以上のプロジェクトを支援してきました。プロジェクトのテーマとしては、例えば、地域コミュニティによる持続的な森林経営の実践、違法行為に対する監視体制の構築、アグロフォレストリーの導入、女性の参加拡大などが挙げられます。

3. 我が国のITTOに対する貢献

我が国は、ITTOの設立に当たり、世界最大（当時）の熱帯木材輸入国として、熱帯木材の安定供給と国際的な貢献のために、本部を横浜市に誘致しました。以後、ホスト国として、主に





コートジボワールでのプロジェクトにて。女性による苗木生産 (R.Carrillo氏 (ITTO) 撮影)



パナマにおけるプロジェクトにて。チップに記載されたバーコードに、それぞれの立木の直径、樹高、種等のデータを記録 (R.Carrillo氏 (ITTO) 撮影)

プロジェクトへの拠出を通じて、ITTOの運営に貢献しています。

我が国(林野庁、外務省)は、ITTOに対して、年間9千万円程度の拠出を行っています(令和2年度予算額は、林野庁:76百万円、外務省:15百万円)。

林野庁の拠出プロジェクトとしては、現在、インドネシアにおける住民参加型人工林開発、モザンビークにおける森林ガバナンスの改善、ホンジュラスにおける低利用樹種の持続的可能な経営、グアテマラにおける木材トレーサビリティの向上、コンゴ盆地諸国における人材開発の5つが実施中です。

このほか、林野庁は、ITTOの事務局設置経費として、毎年22百万円を負担しています。

4. 第56回ITTO理事会

ITTOの活動は、毎年、全加盟国が参加する国際熱帯木材理事会(ITTC)で決定されます。昨年(2020年)11月には、初めてオンラインで開催されました。今回の理事会では、新たな資金調達戦略の採択、プロジェクトの進捗状況報告、任意拠出金の拠出表明などが行われました。

我が国からは、外務省の令和元年度補正予算を含む総額307万ドル(約3.2億円)の拠出を表明しました。この額は、今回の拠出表明額合計の74%に上ります。

林野庁からは、ミャンマーにおける合法木材の流通体制の構築、加工貿易国等(中国、ミャンマー、ベトナム)における木材の合法性確認システムの分析・評価の2つのプロジェクトに、計72万ドル(約76百万円)の拠出を表明しました。両プロジェクトは、2021年1月から開始されましたが、ミャンマーのプロジェクトは現在、現地情勢確認中です。

5. おわりに

近年、SDGsやESG経営への関心が高まる中、持続可能な熱帯林経営に貢献してきたITTOへの期待は高まっています。林野庁も、引き続き、ITTOへの支援を通じて、持続可能な森林経営の推進に貢献してまいります。

* ITTOの詳細は林野庁HPをご参照ください。(https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/itto.html)



全国の国有林に設定した「レクリエーションの森」をより多くの方々に知っていただくため、林野庁職員の有志が力を合わせて「恋する花子まっぷ」を作成しました。第1弾は長野県と岐阜県にまたがる乗鞍岳であり、このリーフレットは、長野県と岐阜県内の各所に配置するほか林野庁HPでダウンロードすることができます。

■ 恋する花子まっぷとは

国有林を「あなた」と呼んで恋する花子を主人公として、森林の素晴らしさを情緒的に綴った「恋する花子」のストーリーは、数年前、レクリエーションの森業務を担当していた本庁職員がふと思いつき、自ら執筆したことから始まりました。

当初は、キャッチコピーとストーリーだけで構成されたものを、農林水産省内の特別展示において紹介して走り出した企画でしたが、作画を得意とする職員の目にとまり、また、題字を書く職員も協力し、一緒に地図を作成することとなりました。

国有林を擬人化し、^{あなた}国有林に恋するという視点の面白さと、日々の生活の中で精一杯頑張りながらも、ふとした瞬間にどうしようもなく、心が澄む・心立つ・心染む・心が解けるような景色を求め、あなた(国有林)に会いに駆け出してしまう心境などが共感を呼んでいるストーリーのマップ化第1弾となっています。

恋する花子まっぷ リーフレットデータのダウンロードはこちら
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/#reku



リーフレット内面(A4サイズ、三つ折り)

※リーフレット配置先、内容に関するお問合せ

林野庁 経営企画課 国有林野総合利用推進室 03-6744-2323

飛騨森林管理署(岐阜県側) 050-3160-6085 中信森林管理署(長野県側) 050-3160-6050

恋する花子の悩み事

心が迷む
心立つ
心戻る
心が解ける
そんな景色が見たい



花子「ふと窓の外に目を向ける。目に入るもの。無機質なもののばかりで心に留まらぬ。」

乗鞍岳の高山植物 登山道を彩る可憐な草花も、大切な命、みんなの宝物。写真に夢中で踏み潰したり採ったりしないでね。

クロユリ



イワギキョウ



表紙の高山植物...ハクサンイチゲ (左) ミヤマダイコンソウ (中央) キバナシャクナゲ (右)



乗鞍岳へのアクセス

乗鞍岳山頂へ至る乗鞍スカイライン (岐阜県側) と乗鞍エコーライン (長野県側) はマイカー規制のため、許可車両以外は通行できません。山麓の乗り換え駐車場 (複数箇所あり) から重平 (標高2,700m) まではシャトルバスやタクシーを利用し行くことができます。

お出かけ時の注意

- ※ 気象情報に注意し、雨域や乾は湿したものを避けましょう。
- ※ 新型コロナウイルス感染症予防対策の影響もあることから、各施設等の情報は事前にチェックしましょう。
- ※ 体調がすぐれないときは無理せず休憩や下山をするようにしましょう。

自然観察教育料って？

自然観察教育料は、「レクリエーションの森」の中でも自然の変化に富み、自然観察学習に適した森林です。野生動物の観察や森林の働きなどを学ぶことができます。

レクリエーションの森とは？

日本の豊かな森林とふれあい親しんでいただくために選定された森林です。自然観察教育料を含めて目的別に6種類が全国各地にあります。

恋する花子「わたし、国^{わたしの}有^{わたしの}林^{わたしに}に恋^{わたしに}した。

恋する花子まつりは...

国有林に恋する花子を主人公に森林の奥深しさを情緒的に綴った歌集マップです。林野庁職員が力を合わせて作成しました。

編・監：平田美紗子
題字：上野純子
作文：高野敬子

お問い合わせ

- ・林野庁中部森林管理区 050-3160-6085
- ・岐阜県森林管理課 (岐阜県側) 050-3160-6050
- ・長野県森林管理課 (長野県側) 0577-78-1111
- ・乗鞍美化の会 0577-78-2345
- ・飛騨乗鞍観光協会 03-6744-2323
- ・林野庁国有林管理官課 03-6744-2323



リーフレット外面 (A4サイズ、三つ折り)

■ 作成者のご紹介



作画・編集：平田 美紗子

日本の森林や林業のことを知ってもらおうべく、様々なイラストで情報を発信。林業漫画『お山ん画』、職業漫画『人ど木』、『北の森漫画』などの著者。北海道森林管理局勤務。



ストーリー：高野 敬子

国有林に恋した花子に息を吹き込み、ストーリー性のあるレク森まっぶ制作をスタート。林野庁本庁勤務。



題字：上野 純子

平田氏と出会い、恋する花子に出会い、特技である書道を活かし題字「乗鞍岳」^{きごう}を揮毫。花子のように国有林に恋しながら、そのイメージに合う字を探求中。島根県へ出向中。



キャッチコピー：松井 章二

花子を虜にする素敵な国有林の魅力を皆様にお伝えしたく、キャッチコピーを創作。省内大臣官房へ出向中。

全体協力：中部森林管理局保全課

花子が恋する国有林に、会いに行ってみませんか？

全国のレクリエーションの森から選ばれた日本美しの森お薦めの国有林はこちら。
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/



飛騨乗鞍観光協会

<http://www.hida-norikura.com/>



乗鞍スカイライン公式サイト

<https://norikuradake.jp/>



乗鞍観光センター <https://norikura.gr.jp/product/norikura-kanko-center/>



新型コロナウイルス感染症対策等の状況について、現地の状況や周辺施設について、事前にHP等でご確認いただきますようお願いいたします。



令和3年度 みどりの月間

毎年4月15日から5月14日は「みどりの月間」です。月間中は、多くの方々に森林や自然とふれあい、植樹活動に取り組んでいただけるよう、様々なイベントが開催されるほか、緑の募金運動が重点的に実施されます。

■ 緑の募金

4月15日(木)からの「みどりの月間」を緑の募金全国一斉強調月間として、コンビニ等の店頭、インターネット、スマホ決済等を通じて募金が行われています。また、植樹活動などのプロジェクトを応援するクラウドファンディング型の募金も新たに始まりました。

緑の募金は「寄附」という形を通して、国内外で行われる植樹や間伐などの森林整備や緑化を行うボランティア活動、森林を活用した子供たちへの森林環境教育等を支援するもので、令和2年7月豪雨をはじめ、災害により大きな被害を受けた被災地域の復興の支援を目的とした森林整備や緑化等にも使われています。ぜひ皆様の御協力をお願いいたします。



緑の募金ポスター



保育園の参加による植樹会

写真提供:国土緑化推進機構

■ 各種緑化行事

例年、「みどりの月間」中に、全国で森林や自然などのみどりに触れる行事やみどりに対する見識を広めるためのイベントが行われています。

5月4日の「みどりの日」についての関心を促進し、植物、森林、自然環境などについての国民の理解を深めることを目的に創設された「みどりの学術賞」は、今年は武内和彦氏、田畑哲之氏の2名に決定しました。4月23日(金)に開催予定の「みどりの式典」において授与されます。また、今後、日本科学未来館にて、みどりの学術賞受賞者によるトークイベントも予定されています。



武内 和彦氏



田畑 哲之氏



令和2年度 全国がんばる林業高校生表彰の実施について

次世代の森林・林業を担う人材を応援することを目的として、令和2年度から「全国がんばる林業高校生表彰」がスタートしました(全国林業研究グループ連絡協議会主催。林野庁補助事業を活用)。

本表彰は、全国の森林・林業に関する科目を開設している高等学校から提出された生徒の推薦調書をもとに、森林・林業に関する知識・技能の習得や資格の取得状況、森林・林業の振興をはじめとした社会活動への参画状況等を総合評価し、他の生徒の模範となる生徒1名に林野庁長官賞を授与するものです。

初開催となる令和2年度は、24道府県の31校から35名の高校生が推薦され、厳正な審査の結果、愛知県立安城農林高校の細井千加さん(3年生)が林野庁長官賞を受賞しました。表彰状は令和3年2月19日に、安城農林高校において同校の鵜飼校長のご列席の下、細井さんに授与されました。その後、細井さんと学校関係者を交えて、林野庁職員との間で意見交換会も行われました。



林野庁長官賞授与式の際に撮影
(左から、鵜飼校長、細井さん、林野庁森林・林業技術者育成対策官、脇田教諭)

〈細井千加さんについて〉

森林・林業に関する知識・技術の習得や資格を取得する意欲が高く、学校農業クラブ活動では1学年時から行事運営に携わり、3学年時には会長を務め、農林水産省のYouTubeチャンネル「BUZZ MAFF」においてクラブの情報発信を行うなど意欲的に活動されました。この4月からは愛知県職員(林業職)として、更なる活躍が期待されています。

1) 取得資格、競技会実績

造園技能士試験3級、危険物取扱者試験乙種全類、愛知県農業技術検定、愛知県農業機械検定上級、日本農業技術検定3級、アグリマイスターシルバー、愛知県造園デザインコンクール(住宅部門:優秀賞、公園部門:最優秀賞)、農業鑑定競技会全国大会優秀賞など

2) 研究活動

校内のグループ活動(森林利用研修班)として、エリンギの露地栽培に成功し、成果を取りまとめた愛知県専門高校生徒の研究文では最優秀賞を受賞。

今後は害虫対策や食味の違いの分析を進めるべく、研究を後輩へ引継ぐ。

3) 社会活動への参加実績

森の健康診断(矢作川水系森林ボランティア協議会主催)には毎年参加してきたほか、愛知県で開催された第70回全国植樹祭にはスタッフとして参加しました。



演習林での木材搬出実習



森林利用研修班活動



造園技能検定試験のための練習風景



愛知県造園デザインコンクール公園部門 最優秀賞受賞作品

木曾ヒノキの里の取組

特殊な寸法の丸太を需要に応じて供給

中部森林管理局 木曾森林管理署

はじめに

木曾森林管理署は、長野県の木曾川上流部（木曾谷）の国有林野の管理経営を担っています。管内の「木曾ヒノキ」は、日本三大美林の一つとして全国的にその名が知られているほか、明治時代に植栽されたヒノキ林をはじめ、高齢級の人工林資源が充実してきています。

近年、全国で公共建築物の木造化等の動きが広がりにつつある中、木曾谷に所在する町村でも地場産材を利用した役場庁舎などの建築が相次いで進められていますので、当署では、国有林の森林資源を活かし、これらの建築に必要とされる木材の供給に取り組んできました。今回は、信州・木曾谷の木材と伝統的な技術・工法を採用したシンボリックな公共建築物の一部と、関連する当署の取組を御紹介します。

多様なニーズに応じた特殊な寸法の丸太の供給

公共建築物の建築に際しては、一般の住宅などに使用されるものと比べて、長さや直径などが特殊な寸法の丸太が必要とされることが多く、こうした「特殊用材」は民有林からの供給が期待しにくいいため、その確保が課題とされてきました。中部森林管理局では、こうしたニーズに応えるため、令和2年4月から、当局が丸太の販売を委託している木材市場を通じて要望や相談を受け付け、その情報を基に丸太の生産を行い、木材市場を通じて販売するという新たな取組を始めました。これにより、需要者のニーズにきめ細かく対応した供給が可能となりました。

役場庁舎や公民館の新築が進む信州・木曾谷

令和3年4月5日に開庁した木曾町役場本庁舎・防災センター（写真1）

管内概要

木曾森林管理署は、長野県南西部に位置し、木曾谷北部の木曾川上流部にあります。区域面積は110千haで、長野県全体1,356千haの8%にあたります。このうち国有林野は、木曾町等2町2村に所在し、その面積は57千haで、町村面積合計の5割を占めています。

当署管内は、ヒノキ、カラマツを主体とする人工林が42%、天然林が52%となっています。このため、天然林木曾ヒノキ、サワラ及び人工林ヒノキを主とする国有林材の原木供給に依存する流通及び製材加工が盛んな地域です。

また、森林浴発祥の地である「赤沢自然休養林」をはじめ、中央アルプス国立公園や御岳県立自然公園等の森林レクリエーション資源が豊富にあり、多くの方々に利用されています。



所在地	長野県木曾郡上松町正島町 1-4-1		
区域面積	109,577ha	うち森林面積	101,692ha
国有林野面積	57,659ha (国有林野率 57%)		
管轄区の関係町村	2町2村 (上松町、木曾町、木祖村、王滝村)		

基礎データ

は、「木曾にかけの大屋根」をコンセプトにした木曾地域の伝統的な「出梁造り」の工法（写真2）を用いた、全長108メートルの木造鋼板葺平屋建ての建物です。

新庁舎（写真3）は、木造と鉄筋コンクリート造との混構造で、人工林のヒノキが活用されています。正面玄関を入ると、太い柱と細い材が枝分かれした上部架構により、森の中にあるような空間が迎えてくれます。

この建物には、人工林のヒノキのほか、近年、建築用材としても需要が高まっているカラマツなど地域産の木材約1万2千本が使用されており、このうち柱や梁などの構造材の4割は町有木材が使われています。また、建物のシンボルともなっている組桁や出梁には、5mや6mといった特殊な長さの木材がまとまった量で必要だったことから、当署では、木曾町の御要望に応え、必要な木材の供給に協力させていただきました。

昭和25年に町の中心部を焼く大火があり、以来、都市計画法に基づき木造建築物には条件付きでの建築が求められていることから、木造部分は4本の柱を合わせた「合わせ柱」（注1）、2本、3本の梁を合わせた「合わせ梁」などによる燃えしろ設計（注2）の現し（注3）が特徴的です（写真4）。

令和3年3月に竣工した上松町役場

南木曾町においては、令和4年春の完成を目指し、妻籠町並み交流センターの建設準備が進められています（写真5）。現在、基本設計が完成し、特殊な

寸法の柱として36cm×6mのヒノキ丸太が55本必要となったことから、木材市場を通じて当署に要望をいただきました。

これからもお役に立ちます



木曾谷の林業は、天然林の木曾ヒノキを中心に育まれた長い歴史を持ち、林業、木材産業も盛んな地域です。これまでも民有林からの供給が期待しにくい樹種等の計画的な供給に取り組んできましたが、国有林として引き続き地域のニーズに応えながら、よりお役に立てるようさまざまな取組を行っていきます。中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業成長産業化に向けて、民有林行政や事業者の皆様

の参考としていただける取組を左記ウェブサイトでご紹介しています。こちらぜひご覧ください。

お役に立ちます国有林

<http://www.rinyama.go.jp/chubu/policy/business/oyakunitaimasukokuyurin.html>



（注1）合わせ柱：柱の強度を増すため、柱材を数本合わせてボルト等で結合したもの。
（注2）燃えしろ設計：想定される火事で消失する木材の部分を「燃えしろ」といい、燃えしろ部分が焼失しても火災時に建物が倒れない設計のこと。
（注3）現し：木造建築で、柱や梁などの構造材が見える状態で仕上げる手法。



写真1 木曾町役場本庁舎・防災センターの新庁舎



写真2 出梁造りの長い廊下「中山道こみち」



写真3 建設中の上松町新庁舎



写真4 「合わせ柱」等が見える上部架構



写真5 妻籠町並み交流センター（完成イメージ図）



みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神
こばやし ゆうき
小林 優希

皆さま、初めまして。
2021ミス日本コンテストで「みどりの女神」に選んでいただきました。小林優希と申します。

私は慶應義塾大学に通う新4年生です。経済学部の授業で、戦後の林業が日本経済の復興に多大なる影響をもたらしたことを学びました。当時から、林業は日本にとってか

けがえのない存在だったので
すね。

自然の魅力を教えてくれた ブラジルの森林

私が親しみのある森は、ブラジルの熱帯雨林です。中学3年間をブラジルで過ごした私は、サンパウロ日本人学校の中学部に通っております。サンパウロ日本人学校は、当時世界で2番目に大きな学校と言われており、敷地内にジャングルのように木々が生い茂っているところや、コーヒー園、バナナ畑などがありました。教室から体育館に移動するだけで、授業間の休み時間が終わってしまうような広い学校で、二ワトリが自由に駆け巡っていたことや、イグアナやフクロウを見られたことは、今となっては大変貴重な経験であったと感じてお

ります。

そのようなブラジル時代に、家族とイグアスの滝を訪れたことがあります。滝にたどり着くまで、木々をかき分けて森の中を歩いて行くのですが、その空間はとても神秘的なものでした。青々しい緑の葉から差し込む強い光。木が風に揺られることで織り成す葉の擦れる音。都会では感じられないような、柔らかな美味しい空気。全てが心の癒しとなるもので、生きているうちにもう一度訪れたい場所です。

コンテストの前日、日本の森林とブラジルの森林に対する印象を質問していただきま

した。正直に申し上げますと、私はそこまで日本の森林を訪れたことはありません。小学生の時に両親に連れて行ってもらったキャンプや、学校主催の体験学習、修学旅行で富士山の5合目まで登ったことくらいです。



▲熱帯雨林の広がるイグアスの滝にて



▲2021ミス日本コンテストにて



▲CLT広報大使任命式にて

それまでの経験を踏まえ、日本の木々はまっすぐ誠実に、お互い気を遣って成長しているようなイメージを抱きました。一方で、ブラジルの木々は、そこに何か障壁があるのが関係なしに「我先に」と曲がりくねってでも伸びている印象。振り返ってみると、自然にまで「国民性」やその国の雰囲気が出てくるよう

に感じました。

日本の木々が私の印象と合っているのか、実際に足を運び、確かめていきたいです。

CLT広報大使に就任

みどりの女神に就任してから1週間が経った3月29日、首相官邸にてCLT広報大使の任命式がございました。初

めの官邸で岡田官房副長官にお会いし、二度とない経験に感無量でした。

CLTの木材技術については、ファイナリストの勉強会期間中に林野庁の本郷長官をはじめとした様々な方からお話をお伺いし、学んだばかりです。当日もCLTについて今後の展望などを伺い、改めてこの優れた技術を日本国内

で普及させていくお手伝いに尽力したいと、決意を新たにいたしました。

CLT広報大使としてのみではなく、みどりの女神として日本の林業を伝えていきますよう、一生懸命努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

「2021ミス日本みどりの女神」が誕生!



3月22日、「第53回ミス日本コンテスト2021」が都内で開催され、13名のファイナリストからミス日本グランプリほか各賞の受賞者が決定しました。

「2021ミス日本みどりの女神」は小林優希さん(21)です!今回は、ミス日本ミス着物と同時受賞になりました。

みどりの女神は、ミス日本各賞の一つで、これからの1年間、森林の大切さや木の文化の素晴らしさを伝え、みどりと木への親しみを広める役割を担います。

今後は歴代の女神と同じように、ヘルメットと作業服に身を包み、林業の現場に赴いたり、全国各地の行事に参加して、広く森林・林業・木材産業をPRしていきます。

こばやし ゆうき
小林 優希

〈プロフィール〉

出身地 神奈川県横浜市

趣味 スポーツ観戦 / お菓子作り

特技 ピアノ



「林野」は林野庁HPでもご覧になれます。詳しくは

情報誌 林野

検索

